

磐田東高ラグビー部創設

磐田東高にラグビー部が創設されること、26日明らかになった。ラグビー人気があるながらも、これまで磐田市内の高校にラグビー部がなかったことから「地域の子どもたちが育んできた夢や思いを大切にやりたい」と同校が実現にこぎつけたもの。来春から部員を募集し、指導者にはプロを招へいする意向。非公式ながら、すでに地元のプロリーグ・ヤマハ発動機ジュビロの協力も取り付けている。



▲▲ 創部すれば、ヤマハ発動機選手からのコーチを受けられる可能性も

ヤマハ発動機の協力でコーチ派遣も

指導者は「プロ」

「来年4月に同好会として発足させ、11年から正式に部として活動したい」と磐田東・鈴木重晴教頭(54)。監督らスタッフ陣は白紙だが「指導者はプロに依頼したい」と学校側は意欲的だ。創部に向けての形も徐々に具体的になってきた。

底辺充実著しい

もともと磐田市はラグビー人気が高く、小学生のタグラグビーでは05年に磐田東部が全国制覇。11月22、23日に愛知で行われた全国ジュニアラグビー東海地区大会でも、地域の中学生主体のラグビースクールチームが県初の全国切符をつかむな

りそうだ。

来春部員を募集

ど、底辺の充実ぶりは著しい。しかし同市内の高校にラグビー部がないため、有能な選手も中学以降は活動の場がなく、関係者も頭を痛めていた。活動は、ヤマハ発動機の協力が期待できることから練習グラウンドの確保のほか、元トップリーグやシーズンオフなどには現役選手のコーチが受けられる「特典」もあきそうだ。

◆県内高校のラグビー事情 現在ラグビー部

があるのは東部1、中部8、西部2の合わせて11校で、地域的な偏りは否定できない。そのため一極集中型となり、今年V8を達成した東海大翔洋が群を抜いている。だが、最近では聖光学院が翔洋を脅かすなど、全体的にレベルが上がってきている。全国的にも、近年は花園で1勝できるようになり、全体的な底上げが必要な時期に出場校が増えることは県高校ラグビー界にとっては大歓迎だ。